

1. 研究課題名：北東アジアの乾燥地生態系における生物多様性と遊牧の持続性についての研究

2. 研究代表者氏名及び所属：
吉川 賢（岡山大学大学院環境学研究科）



3. 研究実施期間：平成 23～25 年度

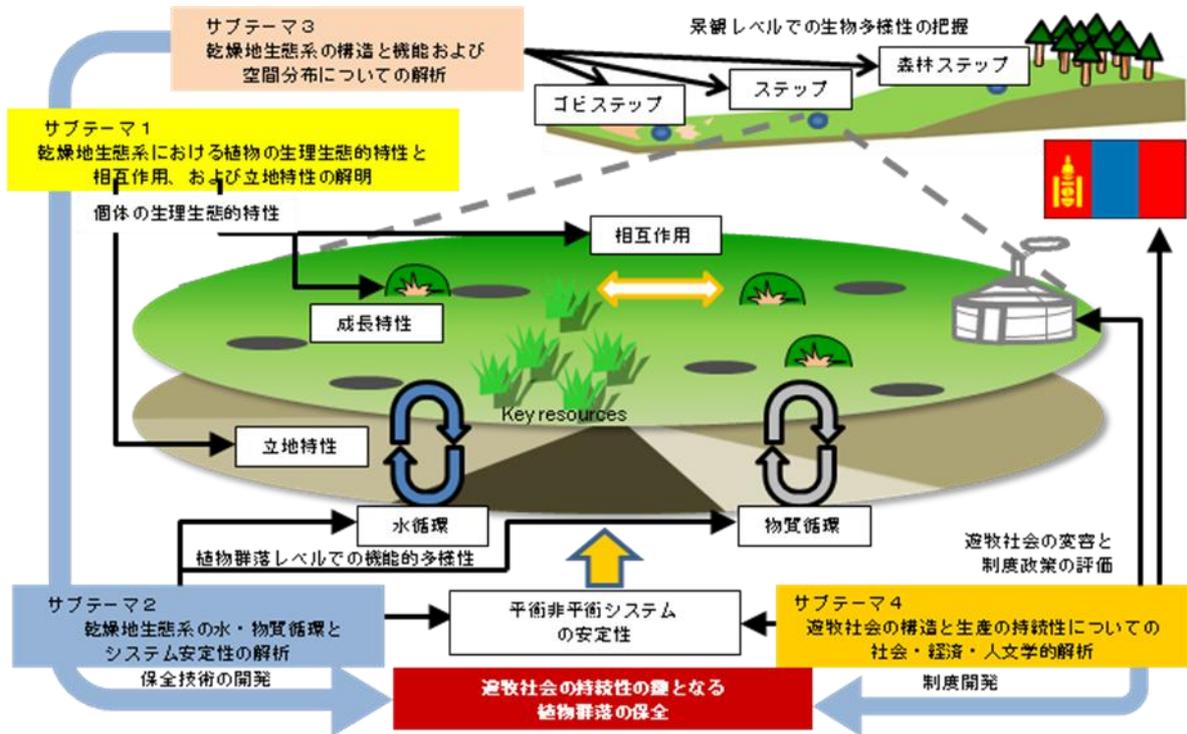
4. 研究の趣旨・概要

北東アジアの乾燥地は植物の生産量は低く、種組成も単純です。しかし、時間と空間を長く、広くとると、立地条件は多様で、草原には異質な植生がモザイク状に分布します。遊牧はその時空間的異質性を移動によって活用する生産システムです。なかでも、干ばつや大雪の時の餌の量と質と分布は遊牧を持続させるために重要です。一方、社会体制の変更で伝統的な遊牧システムが変貌し、過放牧による草原の劣化が進んでいます。そこで、気象災害時に生き残るために欠かせない植物資源を特定し、その特性を解明するとともに、その資源の伝統的な利用・保全方法を明らかにし、時代に即した持続的な遊牧生産システムの構築のための制度・政策を提言します。

5. 研究項目及び実施体制

- ① 乾燥地生態系における植物の生理生態的特性と相互作用、および立地特性の解明（岡山大学）
- ② 乾燥地生態系の水・物質循環とシステムの安定性の解析（東京大学）
- ③ 乾燥地生態系の構造と機能および空間分布についての解析（鳥取大学）
- ④ 遊牧社会の構造と持続性についての社会・経済・人文的解析（早稲田大学）

6. 研究のイメージ



期待される研究成果

